

セミナー報告

令和元年度 男女共同参画セミナー②

「DVから子どもを守る～お互いを大切にするCAP～」

令和元年11月23日(土) 10時～12時

講師 しげなが ゆみ
重永 侑美



【プロフィール】

◎NPO 法人 CPA・JAPAN トレーナー

◎NPO 法人にじいろ CAP 代表理事

◎NPO 法人子ども保育研究所理事

子どもの虐待・いじめ・誘拐・性被害から子どもをどのように守っていくのかを主なテーマに、ワークショップや講演画、実施し、大人から子どもまで幅広い年齢層を対象とした活動を行っている。

《セミナー概要》

夫と妻で起きている暴力を子どもが目撃することを心理的虐待という。親の支配関係の中で、暴力がいつ起こるかわからない緊張感にさらされる。常に親の顔色を見ている。これが、子どもの脳に大きく影響し、子どもの心が委縮する。

子どもが育つ環境は大事。人が助け合い・協力し合い、お互い様という地域環境をつくるために予防する教育が必要。

子どもたちを被害者にしたくない。被害者を放置すると加害者に転じる。被害者をケアする、被害者に気づく。「ひとりぼっち」「誰にもわかってもらえない」をなくし、加害者になっていく子どもたちを減らす。暴力のことは、被害者・加害者の問題ではなく、周りの対応如何で変わる。未然にいろんな問題を防ぐ。子ども・女性・障がい者は暴力の被害に遭いやすい。さらに家庭の中であれば外から気づきにくい。そのために人間関係のトラブルには予防教育が必要。

生きていくのに絶対必要なこと、絶対ないと困ることを「人権」と呼ぶ。「権利」は、してもいいということ。勉強する・学校行く・眠る・遊ぶ・笑う・怒る・泣く・起きる・息をする等たくさんの「権利」を持っている。その中でも子どもには特別な3つの権利『安心する・自信をもつ・自由に生きる』がある。その権利を奪われないようにするために、“いや”という気持ちはとても大事。

「“いや”と言っている。」我慢が美德ではない、わがままではない、自分の感覚を信じていい。“いや”という感覚を封じ込めると、どうしたい等の希望を失う。“いや”という感覚を失うと身を守れない。人に従順か、従わせようとすると誰にも相談できなくなる。生きづらさの始まりは、圧力を感じること。“いや”という思いを抑圧すると親でも信用できなくなる。

体罰にいいことはない。教育のため、しつけのため、叩けば叩くほど子どもは問題行動を起こす。子どものため、おまえのためと暴力を正当化しない。叩きたくなったときは、まずは深呼吸して黙る、我慢する。人は変えられないが、自分を変えられる。大人が大人らしく、わがまま言わない。次世代の子どもを優先し、生きやすいように道を譲る。子どもの声を聴く教育をやっていかなければ暴力、DV、いじめがなくなる。

そして、地域は大切。人の目は大切。「子育てしているパパ・ママに温かい目で見てください。」「声をかけることで見られていることを知らせてください。」「黙って聴く、最後まで聴く、うれしそうに聴く大人であってください。」と締めくくられました。

※別紙資料

《受講生の感想》※抜粋

- ・子育ても終わり、介護の生活で、自分とあまり縁が遠いテーマかと思いつつ、本日参加したのですが、とても興味深く、おもしろい話で、勉強になりました。
- ・まさに子育て世代ですが、先生の言われている親の気持ちがよくわかり、余裕のない毎日を客観的にみれた気がします。叩いたりとかは、あまりしたことないですが、傷つける言葉は言うこともあり、息をはくようにします。楽しくいろんなことを教えて頂きました。小学校にもきて頂きたいなあと思いました。
- ・いやと言う権利は大切なんで、目からウロコでした。こんな教育が行われている事、知りませんでした。もっと広まってほしいです。
- ・いやって言ういいよ、と大人が言える人が増えるといいなあと思いました。気持ちを聴ける人間、気持ちを話せる人間の関係が大切だと思いました。人を比べる社会より、互いのよさを認める社会になってほしいなあと思いました。ありがとうございました。
- ・私は離婚を防ぐため、個人的に友達になったお母さんたちの悩みを聞いたり、教育機関につないだりしています。虐待が目立つニュースに、いてもたってもいられなくて参加させていただきましたが、本当に共感できることが多く、とても勉強になりました。
- ・具体的な例をあげてのご説明が本当に楽しめて良かったです。
- ・ユーモアもあり、ロールプレイもあって面白かったです。子どもの SOS に気づくこと、実際に行動することの大切さを教えてもらいました。地域の中でのサポートという考えに共鳴しています。
- ・とてもとてもおもしろく良かったセミナーです。前回のセミナーもききました。もっともっと広くセミナーをすすめてもらいたい。
- ・楽しくおもしろくお話していただき、人権についてよくわかりました。現在の子どもの状況がわかりました。孫のかかわり方も参考になりました。地域の子供にも参考にしたいと思いました。
- ・とてもためになるお話でした。孫とのかかわり方に大いに生かしたいと思いました。大人がもっと変わらなければいけないと感じました。子どもたちがいとおしくなりました。
- ・身近な日常の事をまじえてお話して下さってとても理解しました。もっと子供との関係を理解しようとする努力しつつ、育った時代の格差を感じました。
- ・70代で、あまり関係ないテーマと思っていましたが、聞いて子供の問題ではなく人間、人としての話が聞けて嬉しく、生きることの楽しさが出てきました。私はまだ働いています。年寄りの大事さも子供にも大事なかなと思います。
- ・近くに住んでいる共稼ぎの息子夫婦の子育てが気になっていますが、あたらずさわらずで上手に接しています。とてもいい話がきけました。
- ・DVは自分に関係ないと思っていましたが、今日の話聞いて色々なDVがある事を知りました。今からはまずは“自分のくらし”、節度のある介入、お節介上手、少しずつ実践していきたいと思えます。地域の人と仲良く助け合いたいと思いました。
- ・とてもよいお話でした。孫と同居しているので役に立ちました。
- ・「犬に話す」という事にびっくりした、納得もしました。
- ・放課後、児童クラブで働いている者です。日頃落ち着きのない子や一度話し出すとずっと話をしている子など様々な児童がいます。今日の話聞いて、その児童に対して犬のようにおおらかに対応していきたいなあと思いました。
- ・色々な体験話がおもしろく、よい気持ちになって聞くことが出来ました。
- ・とってもよいお話でした。もっとたくさんの人に聞かせたいお話でした。
- ・楽しく学べました。いい活動だなあと思いました。
- ・小学生に聞かせた方がよい。